

メンテナンスツール 【データバックアップツール】 操作手順書

Ver:1.0

バックアップ・リストアツールのご説明

リアテナントに保存されたデータのバックアップを行うことで、後でバックアップデータを使ってバックアップ時点のデータにリストアが可能です。

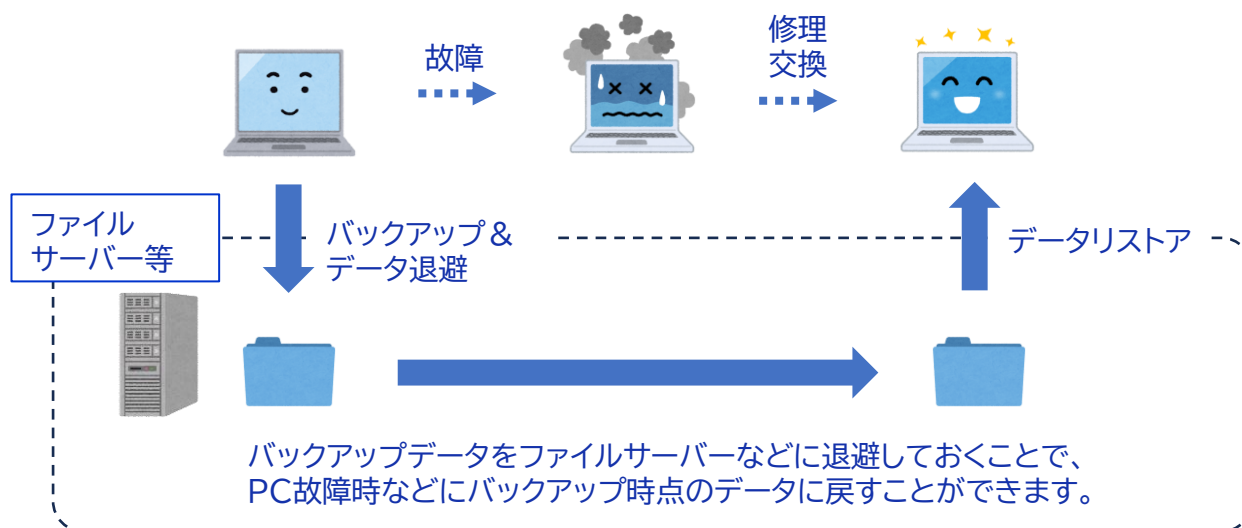
【バックアップ・リストアの利用ケース】

- ・データを別のPCに移行したい場合(PCの入れ替え時など)



移行元PCからUSBメモリ等にバックアップデータを退避し、退避したデータを使って移行先PCでリストアを行うことができます。

- ・過去のある時点のデータに戻したい場合(戻したい時点のバックアップデータが必要です)



バックアップデータをファイルサーバーなどに退避しておくことで、PC故障時などにバックアップ時点のデータに戻すことができます。



【本ツール利用の前提条件】

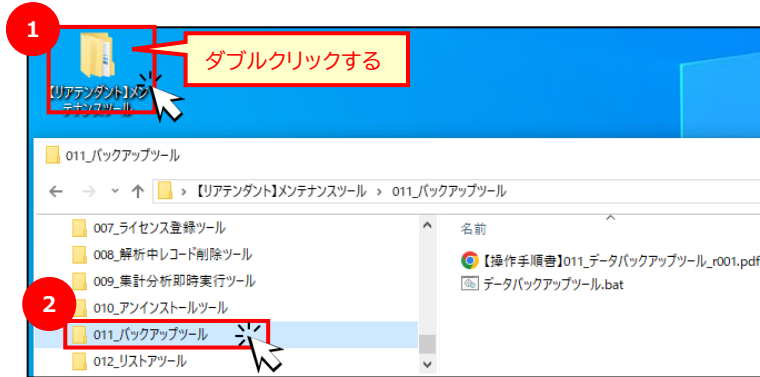
- ・バックアップ元PCとリストア先PCに、同一バージョンのリアテナントがインストールされていること
※バージョンが異なる場合、正しく動作しない可能性があります。

【注意事項】

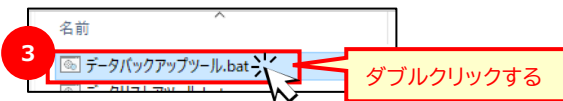
- ・一時保存しているデータに関しては、リストアできない場合があります。
- ・バックアップ元PCのデータは、リストア先PCで正しくリストアできることを確認してから削除することを推奨します。

1. 手動でバックアップ処理を実行する

- ① バックアップ元PCのデスクトップにある[リアテナント]メンテナンスツールを開きます。
- ② [011 バックアップツール]フォルダの中に移動します。



- ③ [データバックアップツール.bat]をダブルクリックすると、コマンドプロンプトが表示されます。



- ④ [バックアップが完了しました。]が表示されていることを確認します。
- ⑤ 何かキーを押下するとダイアログが閉じてツールを終了します。

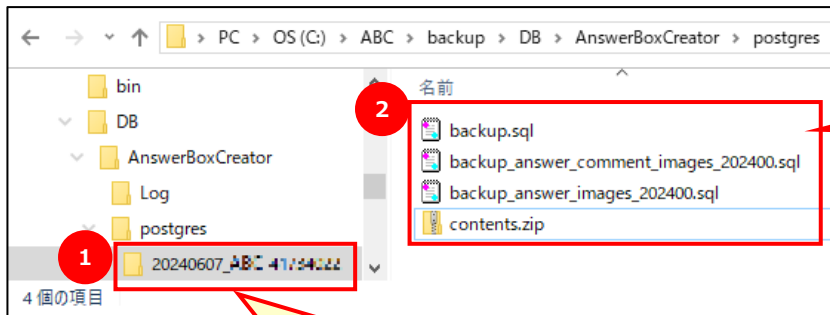
```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

#####
##
## データバックアップバッチ
##
#####

## バックアップを開始します。
## STEP1: バックアップフォルダの存在確認
## STEP2: バックアップバッチの実行
## STEP3: バックアップ(イメージオンリー)プログラムの実行
## STEP4: フォルダ名の変更
## バックアップが完了しました。
続行するには何かキーを押してください . . .
```

2. バックアップデータを退避する

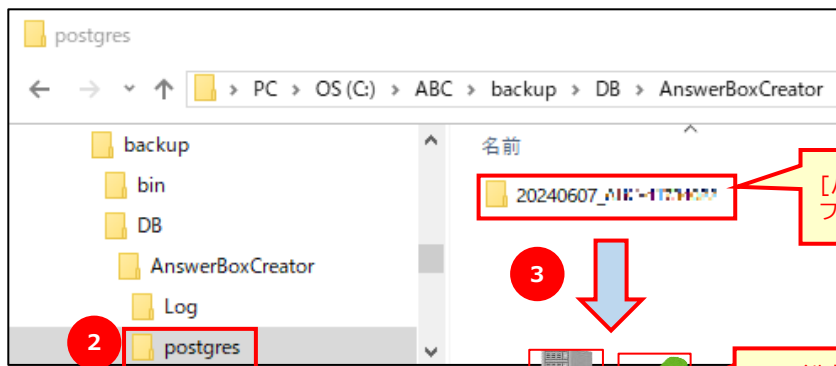
- ① バックアップ元PCのエクスプローラーで、
[C:¥ABC¥backup¥DB¥AnswerBoxCreator¥postgres]フォルダの下にある、
[バックアップ日(YYYYMMDD形式)]_[コンピュータ名]のフォルダを開きます。
- ② フォルダに以下の4つのファイルが作成されていることを確認します。
 - backup.sql
 - backup_answer_comment_images_202400.sql
 - backup_answer_images_202400.sql
 - contents.zip



4つのファイルがあることを確認

以下の名前のフォルダを開きます。
[バックアップ日(YYYYMMDD形式)]_[コンピュータ名]

- ③ ファイルサーバーやUSBメモリ等に[バックアップ日]_[コンピュータ名]フォルダごと退避してください。
※リアテナントのアンインストールを行うと、バックアップフォルダは削除されます。アンインストールを行う場合は、事前にフォルダを退避してください。



[バックアップ日]_[コンピュータ名]の
フォルダをコピー

ファイルサーバーの作業フォルダ
やUSBメモリに日付フォルダごと
ペースト